

Vol. 137

北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信

2020/12/25 発行

第137回 ほほえみ 開催

12月16日(水)第137回 ほほえみを開催しました。
今回は3名の方が参加してくれました。

参加に際しましては、感染予防対策のため手指消毒・検温・連絡先の確認(感染予防にのみ使用します)をさせていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

がんサロン“ほほえみ” 開催にあたって

- *皆様ご使用になる前に、机・椅子・ドアノブなど、手が触れる部分を消毒してあります。
- *30分おきに、換気をさせていただきます。
- *マスクは付けたままでご参加下さい。
- *石鹸で手を洗った後に、消毒液を付けていただきます。
- *参加者名簿に名前と電話番号の記載をお願いいたします。

次回のほほえみは、1/20(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

『がんになったことは不幸なこと?』

(がん体験記)

「がんになった私は不幸な人」——。

本当にそうなのだろうか。

もちろん、病気になんてならない方がいいに決まってる。
それが“がん”なら、「もしかしたら死ぬかもしれない」と考える。

がんは、たくさんのものを奪った。未来も、やりたいことも・・・。
でも、病気が教えてくれたこともたくさんあった。
それは、“当たり前前の日常は当たり前ではないこと”だ。
朝を迎えられることも、おいしくごはんが食べられることも、季節の移り変わりがこんなにも美しかったことも、そして、ひとの心が温かいことも。
それらを知った私は幸せだと思う。

がんにならなければ気づけなかったこと。
それはもしかしたら、今よりも不幸なことなのかもしれない。

痛みを知った分、涙をたくさん流した分、きっとひとには優しくなれる——。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)